



わんぱく 通信

2016年
6月

No.3

今月の
おすすめ
絵本

テーマ

ぼくのパパ、わたしのパパ

こどもたちにとって、おとうさんってどんなひと？かっこいい？つよい？
おやすみにねてばかりいないで、もっといっしょにあそんでほしい？
それとも、いえにいるとうとううしいなんておもっていないかな？

とう し 『お父さん、牛になる』



晴居 彗星//作,
(福音館書店)

ゆうべはゴキゲンですきやきをたべていたおとうさんが、ひとばんたったらうしになっていた!?

『とうさんはタツノオトシゴ』



エリック・カール//作
(偕成社)

タツノオトシゴ、トゲウオなど、こそだてちゅうのとうさんさかなたちがだいふんとう! ユニークなさかながでてるよ。

『パパ、かばになる』



安江 リエ//作,
飯野 まき//絵
(偕成社)

ママがおでかけのよる、パパといっしょにおふろにはいったゆうとかな。パパはおおきくて、まるでかばみたい。「パパがかばになったら、せなかにのってかわへいきたい」とふたりがいうと、パパのせなかがちゃいろくなり、ぐんぐんおおきくなって…。

